



F コマンド

この章では、F で始まる Cisco NX-OS セキュリティ コマンドについて説明します。

feature (ユーザ ロール機能グループ)

ユーザ ロール機能グループに機能を設定するには、**feature** コマンドを使用します。ユーザ ロール機能グループから機能を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature *feature-name*

no feature *feature-name*

構文の説明	<i>feature-name</i>	show role feature コマンドの出力に表示されるスイッチ機能名。
-------	---------------------	--

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	ユーザ ロール機能グループ コンフィギュレーション モード
----------	-------------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドで使用できる有効な機能名を表示するには、 show role feature コマンドを使用します。
------------	---

例	次に、ユーザ ロール機能グループに機能を追加する例を示します。
---	---------------------------------

```
switch(config)# role feature-group name SecGroup
switch(config-role-featuregrp) # feature aaa
switch(config-role-featuregrp) # feature radius
switch(config-role-featuregrp) # feature tacacs
```

次に、ユーザ ロール機能グループから機能を削除する例を示します。

```
switch(config)# role feature-group name MyGroup
switch(config-role-featuregrp) # no feature callhome
```

関連コマンド	コマンド	説明
	role feature-group name	ユーザ ロール機能グループを作成または設定します。
	show role feature-group	ユーザ ロール機能グループを表示します。

feature dhcp

デバイスのダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) スヌーピング機能をイネーブルにするには、**feature dhcp** コマンドを使用します。DHCP スヌーピング機能をディセーブルして DHCP スヌーピングに関連するすべてのコンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature dhcp

no feature dhcp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

DHCP スヌーピング機能は、デフォルトではディセーブルです。DHCP スヌーピングするには、VLAN のイネーブルまたはディセーブルにできます。

DHCP スヌーピング機能をイネーブルにしないと、DHCP スヌーピングの関連コマンドを使用できません。

ダイナミック APR インスペクションおよび IP ソース ガードは、DHCP スヌーピング機能に依存します。

DHCP スヌーピング機能をディセーブルにすると、次の機能を含む、DHCP スヌーピング設定に関連するデバイス上のすべての設定が廃棄されます。

- DHCP スヌーピング
- DHCP リレー
- Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション)
- IPSG

DHCP スヌーピング設定を保持したまま、DHCP スヌーピング機能をオフにしたい場合には、**no ip dhcp snooping** コマンドを使用して、DHCP スヌーピングをグローバルにディセーブルにします。

DHCP スヌーピング機能がイネーブルのときには、アクセス コントロール リスト (ACL) の統計情報はサポートされません。

例

次の例では、DHCP スヌーピングをイネーブルにする方法を示します。

```
switch(config)# feature dhcp
```

```
switch(config)#
```

次の例では、DHCP スヌーピングをディセーブルにする方法を示します。

```
switch(config)# no feature dhcp  
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
show running-config dhcp	IP ソース ガード設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

feature http-server

スイッチで HTTP または Hypertext Transfer Protocol Secure (HTTPS) をイネーブルにするには、**feature http-server** コマンドを使用します。HTTP または HTTPS サーバをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
feature http-server
```

```
no feature http-server
```

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) よりも前のリリースでは、デフォルトで HTTP および HTTPS がスイッチ上でイネーブルになっています。

例

次に、スイッチ上で HTTP サーバをイネーブルにし、HTTP サーバのステータスを確認する例を示します。

```
switch(config)# feature http-server
switch(config)# exit
switch# show feature
Feature Name          Instance  State
-----
assoc_mgr             1        enabled
cimserver             1        disabled
dhcp-snooping        1        disabled
fabric-binding        1        disabled
fc-port-security     1        disabled
fcoe                  1        enabled
fcsp                  1        disabled
fex                   1        enabled
fport-channel-trunk  1        disabled
http-server           1        enabled
interface-vlan       1        enabled
lacp                  1        enabled
ldap                  1        disabled
lldp                  1        enabled
niv                   1        disabled
npiv                  1        disabled
npv                   1        disabled
otv                   1        disabled
```

■ feature http-server

```

port_track          1          disabled
private-vlan       1          enabled
privilege           1          enabled
sshServer           1          enabled
tacacs              1          enabled
telnetServer        1          enabled
udld                1          enabled
vpc                 1          enabled
vtp                 1          enabled
switch# show http-server
http-server enabled
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show feature	スイッチでイネーブルまたはディセーブルである機能を表示します。
show http-server	HTTP または HTTPS サーバの設定を表示します。

feature privilege

RADIUS サーバと TACACS+ サーバでのコマンド認可に対するロールの累積権限をイネーブルにするには、**feature privilege** コマンドを使用します。ロールの累積権限をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature privilege

no feature privilege

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

feature privilege コマンドをイネーブルにすると、権限ロールは低いレベルの権限ロールの権限を継承します。

例

次に、ロールの累積権限をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature privilege
switch(config)#
```

次に、ロールの累積権限をディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no feature privilege
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
enable	上位の特権レベルへのユーザの昇格をイネーブルにします。
enable secret priv-lvl	特定の権限レベルのシークレット パスワードをイネーブルにします。
show feature	スイッチでイネーブルまたはディセーブルである機能を表示します。
show privilege	現在の特権レベル、ユーザ名、および累積権限サポートのステータスを表示します。
username	ユーザが認可に権限レベルを使用できるようにします。

feature tacacs+

TACACS+ をイネーブルにするには、**feature tacacs+** コマンドを使用します。TACACS+ をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

feature tacacs+

no feature tacacs+

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

TACACS+ を設定する前に、**feature tacacs+** コマンドを使用する必要があります。



(注)

TACACS+ をディセーブルにすると、Cisco NX-OS ソフトウェアにより TACACS+ 設定が削除されません。

例

次に、TACACS+ をイネーブルにする例を示します。

```
switch(config)# feature tacacs+
```

次に、TACACS+ をディセーブルにする例を示します。

```
switch(config)# no feature tacacs+
```

関連コマンド

コマンド	説明
show feature	TACACS+ がスイッチでイネーブルになっているかどうかを表示します。
show tacacs+	TACACS+ 情報を表示します。